

資料1-1 玖須美地区の津波対策（課題と対応策）（第1回・第2回地区協議会のまとめ）

【1・2・3・4グループ】

第3回地区協議会資料  
（平成28年6月14日）

開催日	H27. 6. 2地区協議会（第1回）		H27. 12. 10地区協議会（第2回）			
分類	意見		考えられる対応策	意見の分類	意見	
堤防整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港に大きい堤防がない</li> </ul>		(県) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元との合意形成がとれれば、L1津波高さに対する堤防の整備を検討できます。</li> <li>・堤防の高さについては、地元との合意形成により、L1津波高さに対する必要堤防高以下の高さに決めることができます。</li> </ul>	現況 14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防はいらない 避難路5本有り 5分以内で行かれる</li> <li>・堤防は必要なし 避難路を数多く</li> <li>・堤防は不要である 避難路を充実する事 観光都市のため</li> <li>・堤防はいらない 観光への影響が大きい</li> <li>・観光への影響</li> <li>・避難できる</li> <li>・避難路の充実が優先</li> <li>・堤防 現況で対応</li> <li>・よせてくる津波が見えなくなる</li> <li>・安心感を持ちすぎる</li> <li>・もちろん景観も</li> <li>・現況で良い</li> <li>・海岸道路の解放感は観光に必要</li> <li>・海岸線に住んでいるので7.5mの堤防必要とは考えるが、伊東の海岸全体の整備となると観光面から不可能と思う</li> <li>・東北の地震後に見学をしたが堤防がゆえに避難の遅れがあったと聞いた</li> <li>・不要と思う（消防団員が亡くなった）</li> <li>・観光を考えると堤防はマイナス</li> <li>・作るなら観光施設と一体として考えた方が良い</li> <li>・現況 美観 観光</li> <li>・現況 観光地の意味がなくなる 自守防衛の意識が一番重要なので</li> <li>・東日本大震災の例では大堤防でも津波を防げなかった例がありハードでは防げないので、避難路の整備、家屋の耐震性向上を進め訓練頻度を上げる</li> <li>・景観上、堤防をつくる必要はない</li> <li>・避難ビル、タワーの充実を図ることが重要と思われる</li> <li>・堤防より港の防波堤を高くしたらどうか</li> <li>・堤防×</li> <li>・堤防つくる予算を訓練に使う</li> <li>・タワーをつくる タワーなどを観光利用</li> </ul>	
					L1以下で整備 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高さは決められないが堤防を少し高くした上で水門をつくる</li> <li>・歩いて海が見えるように道路を含めて整備</li> <li>・耐久性を考えるとどうか 5.5m以上</li> </ul>
					L1で整備 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7.5m 最低レベルとして明日くるかもしれない 高さは欲しい</li> <li>・7.5m位 L1の高さ（津波）</li> <li>・道路と一緒に出来ないものか？ バイパス</li> <li>・中途半端な高さの堤防は良くない やるなら7.5m</li> </ul>
					L1以上で整備 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく作るなら高い方が良い→8mの堤防 7.5m以上のもの</li> <li>・7.5m以上必要</li> </ul>
土砂災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難する経路で土砂崩れがあり、高台には避難することができない可能性があるかと心配されるのでは？</li> <li>・道路の石積みが崩れないか心配（仏現寺の所）</li> <li>・ガケ崩れ</li> <li>・外に出た時に、木や建物が崩れてこないか？</li> </ul>		(県)(市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業の活用</li> <li>・土砂災害防止法による区域指定、警戒避難体制の整備</li> </ul>			
避難場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波避難ビルへ行くか、坂道を登るか（両方が近い）</li> <li>・和田湯の管理人がいない時</li> <li>・避難所に人があふれないか 富士見（南中・南小）</li> <li>・避難場所での食事等</li> <li>・ペット類をどうする 受入れ</li> <li>・防災資材の確保（小学校に）</li> <li>・高台に逃げる 家族の安否</li> <li>・公的Pに避難タワーを設置する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波浸水区域外への避難が原則ですが、間に合わない判断したときは、津波避難ビルや倒壊を免れた高い建物に避難をしてください。</li> <li>・避難所の耐震診断等については、今後、検討していきます。</li> </ul>			

開催日	H27. 6. 2地区協議会（第1回）		H27. 12. 10地区協議会（第2回）	
分類	意見	考えられる対応策	意見の分類	意見
避難路 (避難路の安全性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路の複数想定の手順（年齢による）</li> <li>・仏現寺の坂道は行けるのか 判断を間違えると間に合わない</li> <li>・避難路の階段がもつか？和田湯に入れる？</li> <li>・道中、障害物があるのでは</li> <li>・お年寄りに避難路を教える 訓練をする</li> <li>・詰所からポンプ車を出す時に、人や車が多くならないか？</li> <li>・避難路が崩れるのでは</li> <li>・避難途中の石垣が心配（妙法寺上）</li> <li>・路面の形態が心配</li> <li>・市指定の広域避難場所に通じる道路の崩落が心配</li> <li>・避難場所までの道が、家屋や電柱が倒壊していて、逃げられるか心配である</li> <li>・避難路が通行出来る状態かどうか？</li> <li>・避難路のガケ崩れ</li> <li>・仏現寺 坂が危険で心配します</li> <li>・避難路のうち、ガケ崩れの恐れがある</li> <li>・避難経路の道路が安全か</li> <li>・避難路の石垣がくずれる（神戸酒店横の階段）</li> <li>・避難する通路がブロック壁に囲まれていて危険</li> <li>・落下物への注意</li> <li>・階段を登って逃げられるか</li> <li>・大行寺の裏道は通れるか こちらを使うか、仏現寺の横かどっちが安全か・・・</li> <li>・避難経路は通れるのか</li> <li>・避難路を確認できているか</li> <li>・避難するのに大きな道が少ない</li> <li>・伊東は古い建物が多く道が狭いので、逃げる道はちゃんと確保できるのか？</li> <li>・避難する通路がせまい（人が一人しか通れない）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会ごとに津波避難行動計画の作成をお願いしています。</li> <li>・今年度（27年度）中に、津波ハザードマップを配布する予定ですので、避難場所までの避難経路について、自身でシミュレーションしておくことが重要です。</li> <li>・大地震が発生した後しばらくは余震が続くことが予想されますので、余震によるブロック塀等の倒壊にも注意が必要です。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯の整備</li> <li>・5本の避難路+国道</li> <li>・石積みが崩れるか確認 通路に民地が多い</li> <li>・災害に対する教育→学校、地域で</li> <li>・災害の歴史を学ぶ→津波の碑が4箇所残っている</li> <li>・市 危機対策課の職員の情報の継続</li> <li>・松川河口に堤防高さと同レベルの水門を作る</li> <li>・避難路の課題</li> <li>・空き家対策</li> <li>・避難路の整備が先</li> <li>・堤防は後</li> </ul>
災害弱者 (お年寄・障害者・家族)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実家のおやじが心配です</li> <li>・弱者を見捨てられるか 自信がない</li> <li>・別の家にいる老人（母）をどのように連れて逃げるか 近所に大きなビルがあるので、そこに連れていけばよいか</li> <li>・高齢者の避難</li> <li>・身体の不自由な方・高齢者の避難</li> <li>・高齢者・観光客の避難がむずかしい</li> <li>・身体の不自由な方の避難援助が出来るかどうか？</li> <li>・要介護者と共に避難出来るか？</li> <li>・高齢者の避難</li> <li>・子供やお年寄りが避難できるか心配である</li> <li>・要介護者・身体障害者・高齢者</li> <li>・地域的にはお年寄が多い</li> <li>・お年寄等の避難（階段も登れない）</li> <li>・登り坂を、老人・小さい子供は時間内に避難できるのか</li> <li>・避難道路の状況 障害者がいれば、車を使用したい</li> <li>・家族の安否</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、ご近所等で、あらかじめ地震発生時の行動を話し合っておくことが重要です。</li> <li>・発災直後は、自助、共助が必要となります。</li> <li>・高齢者や障害者については、あらかじめ災害時要援護者避難支援計画（個別計画）を作成しておく必要があります。（社会福祉課で作成中）</li> </ul>		
避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員逃げられない時、どこまで助けに行くか？危険をして助けるに？</li> <li>・他の人に声をかけていて、自分が逃げ遅れないか？</li> <li>・隣の家の人は大丈夫なのか、声をかけてまわるべきか</li> <li>・津波到達時間を考えると、自身が逃げるのが精一杯！</li> <li>・自分が落ちていられるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jアラート、同報無線、メールマガジン、ラジオ等により情報収集をしてください。</li> <li>・発災直後は、自助、共助が必要となります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港の石油タンクの固定をお願いする（行政の力でできないか）</li> <li>・啓蒙活動を行う←建物をつくるときのセットバックetc.</li> <li>・高齢者対策の充実を</li> </ul>

開催日	H27. 6. 2地区協議会（第1回）		H27. 12. 10地区協議会（第2回）	
分類	意見	考えられる対応策	意見の分類	意見
避難 (近所への声かけ) (自助・個人の問題・家族) (安否確認・車・観光客の対応) (人の集中・経路)	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波到達時間が短い（5分）場合は、避難仕度が出来ない！（特に夜間）</li> <li>津波てんでんこは東北の格言であり、真理と思うが、弱者の切り捨てとなる 心が痛む</li> <li>近所にいる高齢の身障者が、3. 1 1のときに迎えに行ったが、避難はしないといわれた</li> <li>避難する方向がわからない</li> <li>避難場所が明確か？</li> <li>道に人が集中していないか</li> <li>高台・ビル等に想定以上の人が集まる恐れはないのか</li> <li>避難ビルに収容しきれぬのか？ 集中してしまう</li> <li>町内間で協力できる民間のビル等はないか？</li> <li>指定されている避難通路は、津波に対し横に逃がっているのか、通路としてはどうなのか</li> <li>避難経路の想定複数</li> <li>5分で逃げられる距離 年寄・子供・成人で想定</li> <li>国135号が渋滞し大混雑（音無交差点付近）</li> <li>近所の被害状況</li> <li>3. 1 1に声をかけた マイカーではだめかといわれた</li> <li>車での移動</li> <li>車の渋滞</li> <li>車での移動中はどうか？</li> <li>家族の所在</li> <li>仕事中に起きると、家族が心配</li> <li>家族の安否が心配</li> <li>観光客はどこに逃げていいかわからない</li> <li>観光客が避難できるのか心配（地形を知らない）</li> <li>観光客の避難 駅へ集中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族、ご近所等で、あらかじめ地震発生時の行動を話し合っておくことが重要です。</li> <li>安否情報は「災害用伝言ダイヤル171」を活用してください。</li> </ul>		
家の戸締り 持ち出し物	<ul style="list-style-type: none"> <li>いざ、家に居ると、あれもこれも持ち出したくなりそう</li> <li>戸締りに気をとられそうです（雨戸とか閉めてまわりそうです）</li> <li>いざという時に、物より命を大切にできるか？</li> </ul>			
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>10mラインがよくわからない</li> </ul>			
家屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の倒壊</li> <li>自宅が老朽の為、崩壊して避難可能か？</li> <li>火事</li> <li>ガスの元栓を閉める</li> <li>木造の家の倒壊が心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和56年以前に建てられた木造住宅については、無料で耐震診断を行います。耐震補強費用の補助制度もありますので、市建築住宅課まで御相談下さい。（TOUKAI-0による支援）</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波が終わったあとの片づけが大変</li> <li>揺れが大きくても、このくらいなら逃げなくても良いのではと思ってしまいそうです（うちは大丈夫！とか思いそう）</li> <li>浜新道が海からまっすぐ 早いスピードで津波が浸水してこないか</li> <li>普段の情報提供が必要</li> <li>落ち着いた行動がとれるか心配である</li> <li>住宅に近づかないよう、車両に気をつけながら自宅へ向かう</li> <li>火を消す 避難ビルに登る 年寄りを連れていく</li> <li>防災倉庫が流される</li> <li>怖いという意識が大事</li> </ul>			